

安全

5-1 火災を発生させない方法を知っていますか？

火災の原因である炎は、光と熱の発生に伴う酸化反応（燃焼）をしている部分である。燃焼は、（１）熱源（熱エネルギー）、（２）可燃物、（３）酸素（または空気）の三要素が必要である。つまり火災を発生させないためには、炎を出さない、または炎をコントロールする必要がある。

炎をコントロールするためには、熱源または可燃物をコントロールすることが適している。熱源と可燃物の例（危険源の例）を表に示す。

熱源	可燃物
<ul style="list-style-type: none">・ マッチ、ライターの炎・ 花火・ ガスストーブ、ガスコンロの炎・ たばこの火・ コンセント、電線 など	<ul style="list-style-type: none">・ 紙類・ 布類・ 可燃性物質、引火性物質 など

熱源をコントロールするためには、熱源を確認して炎の高さや熱量の調整を行う必要がある。

可燃物をコントロールするためには、熱源から離すことである。または可燃物を不燃物に置き換えることである。ガスストーブやガスバーナーのゴム管は、ガス漏れのおそれがあるので古いものは使用しない。

引火性物質（ガスや有機溶剤など）を使う際は、熱源から十分、離す必要がある。引火性物質は、その固体または液体から引火性ガスが発生して、その引火性ガスに熱源が触れると引火性物質が燃焼することを理解しておく。機械類や電気類から発生する電気火花でも引火することも覚えておく。可燃性物質・引火性物質を扱う場所では、「火気厳禁」の表示を行う。

火災を発生させないためには、熱源・可燃物を確認し、熱源のコントロールを行い、可燃物を熱源から離す。